

① 新潟市 リチウムイオン電池を含む電子機器の効果的な分別収集 及び 電池類リサイクルの取り組み

新潟市からは年間約7,000トンのプラスチック製容器包装を引き取らせて頂いておりますが、当協会の再生処理事業者での発煙・発火トラブルは、過去に1件も発生しておりません。

新潟市のプラスチックに発火物が混入していない理由や、回収された小型家電に含まれる電池類のリサイクルフローなど、新潟市の取り組みを下記のとおり紹介いたします。

記

新潟市のプラスチック製容器包装ベールに発火物混入が無い理由は、以下の4点があげられます。

①「プラマーク容器包装」という呼び方

「プラマーク容器包装」という呼び方で区分し、分別収集している。プラマークが付いた容器のみを回収しているため、「プラスチック製容器包装」という名称よりも市民には分かりやすく、異物が少なくなっている可能性がある。

②リチウムイオン電池をごみ集積場で回収

リチウムイオン電池を含む充電式電池や蛍光灯などは、「特定5品目」という区分で、月に1回ごみ集積場で回収している。ごみ集積場に排出出来ることは、市民にとっては一番排出しやすい。

① 出し方



まとめて同じ袋に入れても良いです。

無色透明または
無色半透明のポリ袋

ボタン電池は安全のため1つずつ両面にテープを貼り絶縁してから出してください。



・乾電池、ボタン電池、充電電池
・モバイルバッテリー
・小型充電式バッテリー

乾電池類

家電販売店等の店頭回収もご利用ください。



Li-ion
リチウムイオン電池



Ni-MH
ニッケル水素電池



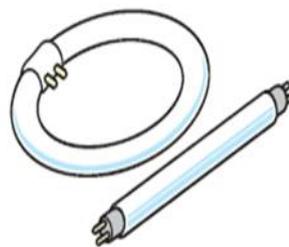
Ni-Cd
ニカド電池

② 収集品目

爆発や破裂の危険性があるもの、水銀などの有害物を含む場合があるものとして、**乾電池類、蛍光管、水銀体温計、ライター、スプレー缶類の5品目が対象**です。

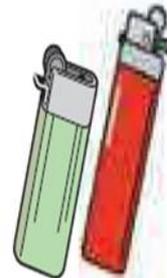
(白熱電球、LED電球、刃物類、割れたガラス、電子体温計は「燃やさないごみ」に出してください。)

また、「粗大ごみ」に出す大きさのものを除き、製品本体から乾電池類が取りはずせない場合に限り、製品本体ごと「乾電池類」として収集します。

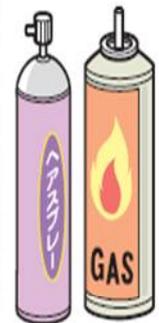


蛍光管

割れないように紙に包むなどして出してください。 中身を使い切ってください。



ライター



スプレー缶類

中身を使い切ってください。穴はあけなくて結構です。(穴があいている場合でも)収集します。



水銀体温計

割れないように紙に包むなどして出してください。

③「電池類が取り外せない小型家電」を特定5品目の乾電池類として分別

昨年10月より、特定5品目の乾電池類に、「電池が取り外せない小型家電」を含めることとして周知した。以下の情報誌参照。



新潟市ごみ減量推進キャラクター「サイチョウ」

新潟市の資源とごみの情報紙

サイチョウPRESS

vol. 53

令和元年10月20日

推進しよう 3R

Reduce! Reuse! Recycle!

【発行者】新潟市環境部循環社会推進課
〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町 602-1
TEL: 025-226-1391
FAX: 025-230-0660

サイチョウプレス

TOPIC

その製品、電池やバッテリーが残っていませんか？

CAUTION!

ごみ処理施設において、電池類や充電式バッテリーが原因とみられる発煙や発火が頻発しています。

見出し横の写真は、西区の新田清掃センターで行われた充電式バッテリーの発火試験の様子です。バッテリーを叩いて衝撃を与えることで、激しく発火する可能性があることが確かめられました。

近年、こうした電池類・バッテリーが、取りはずせない形で組み込まれた家電製品が多く見られます。それらを「燃やさないごみ」などに出してしまうと、処理過程の衝撃で発火が起こる危険性があります。ごみ処理施設内での発火はこの数年で全国的に急増しており、新田清掃センターでも、設備の損傷や火災につながる恐れがある発火件数が、平成29年度に33件であったものが、昨年度は67件、今年度は9月末時点で60件と、大きく増えています。

同センターでは発火事故を防ぐため、「燃やさないごみ」を受け入れる段階で、危険な家電製品などを取り除くチェックを行っています。しかし、市内全域から次々に集まるごみを素早く処理していかなければならず、このチェックにかけられる時間は限られており、危険な家電製品などをここで全て取り除くことは難しい状況です。

電池、バッテリー、電動歯ブラシ、クリーナー、シェーバーなど、取り除かれた家電製品

火災防止のため、下記の分別にご協力をお願いします。



CHECK! 電池類や充電式バッテリーは、取りはずしてください

取りはずすことができる製品

電池・バッテリーをはずした後、ごみとして捨てるより、なるべく「使用済小型家電の回収ボックス」をご利用ください。

詳しくはこちらから▶

製品本体

材質等により分別してください (分別の例)

- ・プラスチック製→燃やすごみ
- ・金属製→燃やさないごみ
- ・指定袋に入らない大きさ→粗大ごみ

POINT

電池類や充電式バッテリーに多く使用されるリチウムイオン電池は、破損・変形により、発熱・発火する危険性があります。家電の無理な分解は行わず、特定5品目に出してください。

取りはずすことができない製品

製品の大きさにより出し方が異なります



ハンディクリーナー



シェーバー



電動歯ブラシ



ゲーム機



電子たばこ

45Lのポリ袋に入るもの **製品本体ごと「特定5品目」に出してください**

※コード類や付属品等は取り外し、材質等により分別してください。

入らないもの **「粗大ごみ」に出してください**

※コールセンターにお申込みの際、「電池が外せない旨」を伝えてください。

ごみ処理施設の火災の原因になるので、「燃やさないごみ」に出さないでください!

お問い合わせ | 循環社会推進課 ☎025-226-1427

(新潟市環境部循環社会推進課)

④スーパーや商業施設などの民間企業での使用済小型家電回収

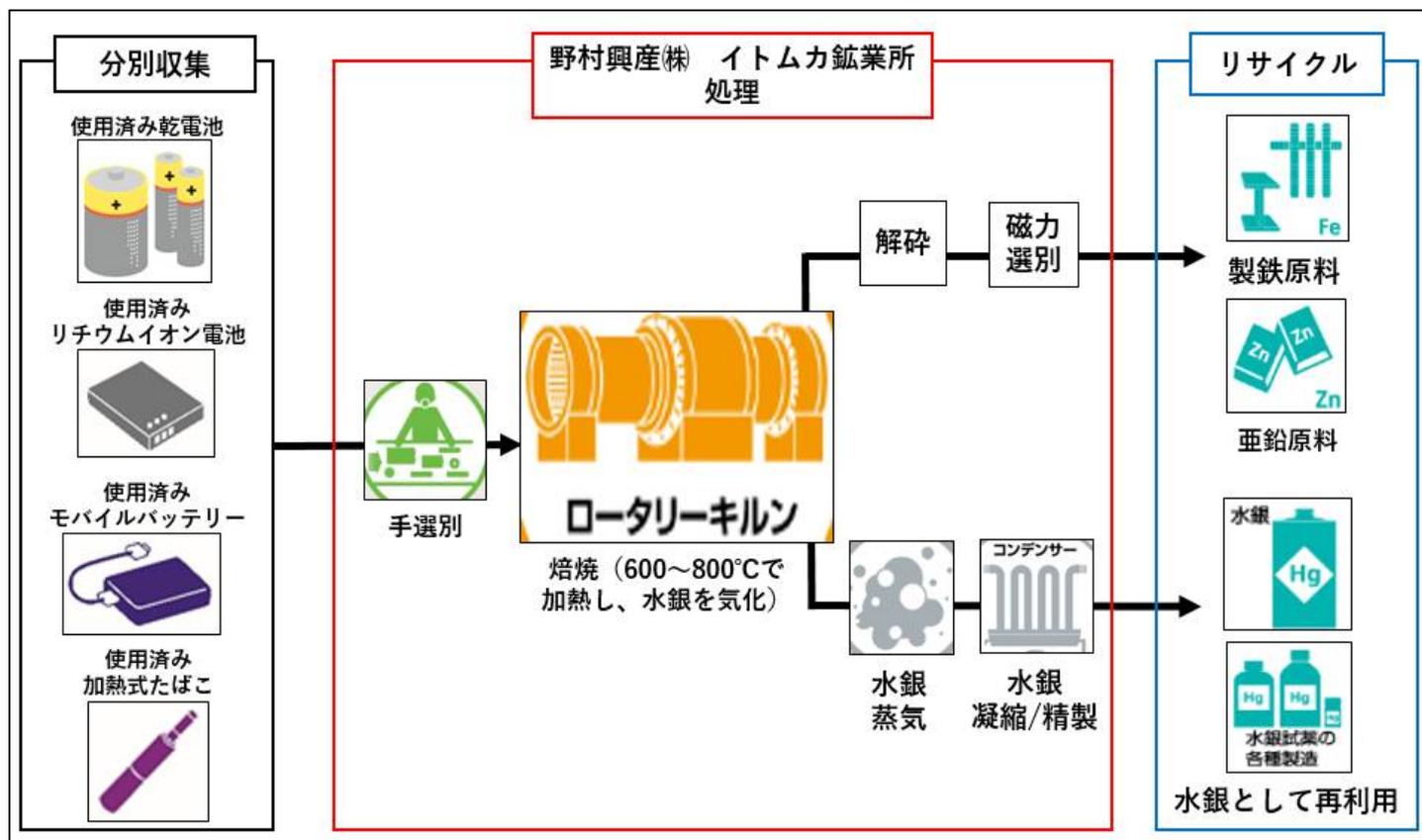
多くの自治体では、使用済小型家電回収BOXを役所などの公共施設のみに設置することが多いですが、新潟市では、公共施設だけでなく、スーパーや商業施設などの民間企業と連携し、使用済小型家電回収BOXを設置しています。設置場所もホームページで詳細に案内し、回収実績も公開しています。

新潟市と連携した野村興産(株)での電池類のリサイクル

新潟市内の清掃センター（2施設）において、電池類の仕分けを行った後、電池類、リチウムイオン電池、モバイルバッテリー、加熱式たばこは、野村興産(株)に運ばれ、焙焼・リサイクルされる。

ボタン電池や、昔の電池や海外製の電池には、水銀が含まれていることがあり、水銀回収を行う野村興産(株)等での適正な処理・リサイクルが行われている。

【野村興産(株)での電池類、リチウムイオン電池、モバイルバッテリー、加熱式たばこの処理フロー】



野村興産でのリサイクルの特徴

- 電池の種類を問わず処理することができる為、過度な解体をせずにアルカリ・マンガン電池やリチウムイオン電池等を併せて保管管理・運搬することができる。
- リチウムイオン電池のリサイクルマークが無い加熱式たばこやモバイルバッテリーについても回収可能。
- 破損や変形した加熱式たばこ、モバイルバッテリー、リチウムイオン電池も回収可能。

以上